



エコ・ファーストの約束

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

令和5年(2023年)4月5日

環境大臣 西村 明宏 殿

株式会社セブン&アイ・ホールディングス
代表取締役社長 井阪 隆一

I 脱炭素社会の構築を目指す取り組みを、積極的に推進します。

1. 店舗運営に伴うCO₂排出量の削減に取り組んでいきます。

- セブン&アイグループの店舗運営に伴うCO₂排出量を、2030年までに50%削減（2013年度比）、2050年までに実質ゼロとすることを目指します。

<具体的な取り組み>

- ・省エネ設備の導入促進
- ・太陽光発電パネル設置店舗の拡大
- ・オフサイトPPAによる再生可能エネルギーの調達拡大

- 店舗運営に伴うCO₂排出量については、第三者による検証を行い、結果を当社ホームページにて公表します。

- CO₂排出量削減の取り組みにおける投資及び削減効果について、可能な範囲で当社ホームページにて公表します。

- 「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」に賛同しています。シナリオ分析の実施や、リスクと機会の開示について、取り組み対象事業会社の拡大を進めます。

2. 自社の排出量（スコープ1+2）のみならず、スコープ3を含めたサプライチェーン全体でCO₂排出量の削減に取り組んでいきます。

II 循環経済社会の実現に向けた取り組みを、積極的に推進します。

1. 事業活動におけるプラスチック対策に取り組んでいきます。

- セブン&アイグループにおけるオリジナル商品で使用する容器は、環境配慮型素材（バイオマス・生分解性・リサイクル素材・紙、等）を2030年までに50%、2050年までに100%使用することを目指します。

- セブン&アイグループにおけるプラスチック製レジ袋の使用量を2030年までにゼロとし、合わせて使用するレジ袋の素材を紙等の持続可能な天然素材にすることを目指します。

<具体的な取り組み>

- ・オリジナル商品の容器包装におけるプラスチック使用量の削減。
- ・オリジナル商品の容器へのバイオマス原料や紙、リサイクル素材の導入。間伐材の利用拡大。

- セブン&アイグループの従業員は、店舗や事業所におけるプラスチックの使用量削減に取り組めます。（例：事業所内店舗でのカトラリーの利用を辞退する、等）



あした
明日にいいこと。つなげる、つづける。



II 循環経済社会の実現に向けた取組みを、積極的に推進します。(続き)

2. 事業活動における食品ロス削減、及び食品リサイクルの推進に取り組んでいきます。

- セブン&アイグループにおける食品廃棄物の発生原単位(売上百万円あたりの発生量)を、2030年までに50%削減、2050年までに75%削減することを目指します。
- セブン&アイグループにおける食品廃棄物のリサイクル率を、2030年までに70%、2050年までに100%とすることを目指します。

<具体的な取組み>

- ・「てまえどり」や「mottECO(モッテコ)」等のお客様とともに食品ロスの削減に取り組む。
- ・食品リサイクル実施エリア・店舗の拡大。

III 自然と共生する社会の実現に向けた取組みを、積極的に推進します。

1. 商品の原材料調達における、持続可能な調達の拡大に、取り組んでいきます。

- セブン&アイグループにおけるオリジナル商品で使用する食品原材料は、持続可能性が担保された材料を2030年までに50%、2050年までに100%使用することを目指します。

<具体的な取組み>

- ・持続可能性が担保された水産物・農産物の販売拡大。
- ・衣料品や生活雑貨における環境配慮型商品の販売拡大。
- ・適切に管理された森林から生産された木材や紙製品の活用拡大。

2. 店頭やWEBにおける募金活動を通じて、環境市民活動団体を支援します。

IV 多くの店舗網を持つ総合流通業として、お客様と共に、持続可能な社会の構築に向けた取組みを、積極的に推進します。

1. セブン&アイグループの店頭へのペットボトル回収機の設置を進め、お客様と共に循環経済社会の構築を目指す取組みを進めます。
2. eラーニング、セミナー、社内におけるフードライブ活動等の実施、また社内報による情報発信を行うことにより、従業員一人ひとりの環境意識向上に取り組めます。

セブン&アイグループは、上記取組みの進捗状況を確認し、その結果について環境省へ報告、ならびに定期的に各種レポート等による公表を行ってまいります。



あした

明日にいいこと。つなげる、つづける。